

株主優待のご案内

年2回
発送

3月31日現在の株主様 ▶ 5月末 送付
(有効期間6月～11月)
9月30日現在の株主様 ▶ 11月末 送付
(有効期間12月～翌年5月)

株主優待乗車証

60,000株以上ご所有の株主様は所有株式数に応じて、ご希望により「電車・バス全線優待バス」を「電車全線優待バス」複数枚と交換できます。

ご所有株式数	電車全線優待乗車券(※1)	優待バス(※2)
1,000株以上 ～30,000株未満	1,000株につき 4枚	—
30,000株以上 ～57,000株未満	30枚	電車全線 優待バス 1枚
57,000株以上	40枚	電車・バス全線 優待バス 1枚(※3)

「電車全線優待バス」
複数枚と交換可能

ご所有株式数	交換枚数
60,000株以上～	電車全線優待バス 2枚
100,000株以上～	電車全線優待バス 3枚
150,000株以上～	電車全線優待バス 4枚
300,000株以上～	電車全線優待バス 5枚
500,000株以上～	電車全線優待バス 7枚
1,000,000株以上～	電車全線優待バス 10枚

※1 1枚につき持参人御1名様が1回限りご利用いただけます。

※2 持参人御1名様がご利用いただけます。

※3 京王電鉄バス、京王バス東、京王バス中央、京王バス南、京王バス小金井各社の路線をご利用いただけます。なお、高速バス・空港直行バス・深夜急行バス等特殊バス、西東京バスはご利用になれません。

株主優待割引券 1,000株以上

※持参人様にご利用いただけます。

京王百貨店 お買物金額10%割引 1,000株以上～5,000株未満・10枚 5,000株以上～10,000株未満・20枚 10,000株以上……………30枚	京王プラザホテルチェーン 宿泊正規料金20%割引 飲食代10%割引 1,000株以上～10,000株未満…10枚 10,000株以上……………20枚	京王観光 キングツアー5%割引 その他のパッケージツアー3%割引 1,000株以上～10,000株未満…10枚 10,000株以上……………20枚	京王ストア (京王ストア・キッチンコート) お買物金額100円割引 1,000株以上……………10枚
京王自動車 (京王タクシー) タクシー運賃100円割引 1,000株以上……………3枚 (車検・点検・整備) 工賃10%割引 1,000株以上……………2枚	京王運輸 引越料金20%割引 1,000株以上……………2枚	京王アートマン お買物金額10%割引 1,000株以上……………10枚	京王食品 (ベーカリー&カフェ ルバ・ベーカリー ルバ) お買物金額10%割引 1,000株以上……………10枚
京王グリーンサービス (フラワーショップ京王) お買物金額10%割引 1,000株以上……………10枚	京王不動産 売買仲介手数料10%割引 1,000株以上……………1枚	京王レクリエーション (京王テニスクラブ) テニススクール入会金無料 入会初回月会費50%割引 貸テニスコート料20%割引 1,000株以上……………5枚	京王フローラルガーデンアンジェ 大人入園料100円 (通常500円を割引) 1,000株以上……………4枚

5,000株以上 ▶ 京王グループカレンダー引換券……………1枚

※9月30日現在の株主様のみ年1回。



2010年度 中間報告 2010.4.1～2010.9.30

INVESTOR'S GUIDE

けいおう

証券コード：9008

INVESTOR'S GUIDE けいおう 2010年11月発行

発行／京王電鉄株式会社 経理部
〒206-8502 東京都多摩市関戸1-9-1
京王ホームページ www.keio.co.jp/

■IR情報についてのお問合せ

経理部企画担当 ☎042-337-3166

■株主優待についてのお問合せ

法務部法務担当 ☎042-337-3114

■電車の運賃や時刻、沿線のイベント情報についてのお問合せ

京王お客さまセンター ☎042-357-6161

9：00～19：00 (年末年始の12月30日から1月3日は休業)



KEIO 京王

「安全性の向上」への取り組みを徹底いたします。
「沿線の活性化」を着実に推進し、
「信頼のトップブランド」を目指します。

京王電鉄株式会社 代表取締役社長 永田 正



平素は、京王グループをご愛顧いただきまして、まことにありがとうございます。

はじめに、当上半期に鉄道事業において連続して踏切トラブルがあり、皆様にご多大なるご心配をおかけしましたこととお詫び申し上げます。これらの事実を真摯に受け止め、今後は安全性の向上への取り組みをより一層推進してまいります。

さて、当上半期の京王グループは、鉄道事業における安全性の向上を最優先に積極的な設備投資を行うとともに、沿線の活性化に向けた着実な事業活動を展開いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の純利益は103億円となりました。また、当期の中間配当金につきましては、1株につき3円といたしました。中間配当金を含む年間配当金につきましては、連結配当性向30%以上を目標として、利益の確保に努めてまいります。

京王グループでは、当年度より「中期5カ年経営計画」をスタートさせており、「さらなる安全性・サービスの向上」と「沿線の活性化」を大きな柱として、その実現に向け様々な施策に取り組んでおります。

鉄道事業では、安全マネジメント体制の強化を目的として「安全推進部」を新設したほか、ATC(自動列車制御装置)の整備や駅・高架橋などの耐震補強を推進するなど、「安全性の向上」に努めております。また、より安心で快適な輸送サービスを提供するために、当年度中の全駅バリアフリー化(段差解消)を目指して駅改良工事を進めるとともに、調布駅付近連続立体交差事業などの大規模工事を推進してまいります。

「沿線の活性化」への取り組みでは、沿線において新規に商業施設を開業したほか、シニアレジデンス事業への新規参入に向け新会社を設立するなど、新たな施策を打ち出してまいりました。魅力を高めるこれらの諸施策を積極的に展開することで、将来にわたって当社沿線が活力を維持できるための基盤づくりを、引き続き進めてまいります。

今後も、「安全性の向上」を最優先課題と認識し、京王グループの企業理念である「信頼のトップブランド」の確立を目指して、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年 11月

さらなる安全性・サービスの向上

公共輸送機関として欠かすことのできない安全性とサービスの向上に取り組み、安全・快適な鉄道を目指します。

安全性の向上

■運輸安全マネジメントの推進

鉄道事業の安全マネジメント体制を確固たるものとするを目的に、鉄道事業部門における内部統制の強化、迅速かつ組織的な異常時対応の遂行、安全を基軸とした研修・教育体制の再構築を行う組織として、鉄道事業本部内に「安全推進部」を新設しました。

■ATC(自動列車制御装置)の整備

列車運行のさらなる安全性向上を図るため、ATC(自動列車制御装置)の整備を進めています。京王線(2009年度にATC化が完了した相模原線を除く)で夜間試運転を実施したほか、井の頭線で機器の設置工事を進めました。2011年3月に京王線でATCの使用を開始します。



2009年度にATC化した相模原線

■構造物の耐震性向上

大規模地震に備え、駅や駅間の高架橋柱や支柱の耐震補強を進めています。吉祥寺駅では高架橋改築工事を進め、8月に線路やホームを支える構造物の造り替えを完了しました。



高架橋改築工事中の吉祥寺駅

安心・快適な輸送サービスの提供

■駅のバリアフリー化

つつじヶ丘駅や東府中駅など13駅で橋上駅舎化やエレベーターの設置などバリアフリー化を目的とした駅改良工事を進め、5月に芦花公園駅で、6月に百草園駅で段差解消を図りました。引き続き工事を進め、当年度末までに全駅*で段差解消を完了します。



つつじヶ丘駅【完成イメージ】

*下北沢駅は小田急線の連続立体交差化工事の進捗にあわせてバリアフリー化する計画です。

大規模工事の推進

■調布駅付近連続立体交差事業

2012年度の事業完了を目指し、調布駅付近連続立体交差事業を進めています。調布駅～京王多摩川駅間で、シールドマシンによるトンネルの掘進を7月に完了したほか、国領駅、布田駅、調布駅の駅部(トンネル構造物)の築造を進めました。引き続き工事を進め、シールド工事においては、最後の工事区間となる調布駅～西調布駅間の下り線トンネルの掘進を行い、当年度末までに、シールドトンネルの掘進を完了します。



躯体築造が進む国領駅部

沿線の活性化～街のチカラに～

京王グループでは、沿線拠点開発の深耕と具体化などの取り組みを通じて沿線の活性化を進め、「街のチカラ」となることを目指します。



「京王フレンテ新宿3丁目」がオープン!

2009年12月に取得した新宿三丁目交差点の「新宿三和東洋ビル(セゾンプラザ)」がファッションと飲食主体の複合商業施設にリニューアルし、2010年11月に新たに「京王フレンテ新宿3丁目」としてオープンしました。百貨店やファストファッション、著名ブランドが数多く営業している新宿三丁目エリアの中心に立地し、新たなランドマークとなる魅力ある商業施設です。

最新のセレクトファッションを提案する「コレクトポイント」が大型旗艦店として新宿地区初出店したほか、新宿三丁目エリア初出店の店舗等、個性ある店舗が飲食フロアを構成しています。

京王新宿追分ビルにオープンした「フォーエバー21」に続き、さらなる新宿エリアの活性化につとめ、豊かな暮らしづくりに貢献してまいります。



京王フレンテ新宿3丁目【完成イメージ】

このほかにも沿線の活性化につながる施設を積極的に展開しています。

キッチンコート久我山店

杉並区宮前の井ノ頭通り沿いに、京王ストアが運営する「キッチンコート久我山店」が9月にオープンしました。キッチンコートはクオリティの高い商品を提供する食品スーパーで、久我山店が6店舗目となります。



キッチンコート久我山店

ACOLT(アコルト)府中緑町

府中市緑町に賃貸マンションブランド「ACOLT(アコルト)」の2棟目となる「ACOLT府中緑町」(全93戸)が11月に竣工しました。多様なニーズに対応した住宅を提供しています。



ACOLT(アコルト)府中緑町【完成イメージ】

暮らしに役立つサービスを提供しています。

京王ほっとネットワーク

京王ほっとネットワークでは、安全で安心して暮らせる街づくりを目指して開始した「シニアセキュリティ」を沿線全域で提供しています。あわせて、「住まいのサポート」や「家事代行」、「お買いもの代行」など暮らしに役立つサービスを提供しています。

お問合せ
京王ほっとネットワーク(高幡店、桜上水店)
発信 ゴーほっと
0120-84-5410
(営業時間 10:00~20:00)

ほっとネットワーク 検索

京王キッズプラッツ南大沢

南大沢に東京都認証保育所「京王キッズプラッツ南大沢」が4月にオープンしました。京王多摩川、高幡不動、千歳烏山に続いて4カ所目となります。



京王キッズプラッツ南大沢

シニアレジデンス事業に進出、「京王ウェルシステージ株」を設立しました。

沿線のシニア層の住まい方に対する高度化かつ多様化したニーズに対応するため、シニア層に安心して快適なライフステージを提供するシニアレジデンス事業に進出、この運営主体として、8月26日に「京王ウェルシステージ株式会社」を設立しました。

今後は、シニア層に対して、「個性を尊重し、人生最高の時期をいつまでも元気で健やかに謳歌していただける、安心・安全・快適な住まいを提供する」という基本コンセプトのもと、自立した健常者をメインの対象としつつ、充実した介護サービスも備えた第1号施設を、2012年に世田谷区経堂において開業する予定です。

この施設には、入居者の「安心・安全・快適な生活」のため隅々にまで配慮された居室、高級感溢れるロビーラウンジ、落ち着いた雰囲気の中で季節感に富んだ質の高い料理を提供するダイニングルーム、ミストサウナや露天風呂を備えた大浴場、フィットネスルームなどのほか、入居者が軽度の要介護状態になったときに介護居室に移行することなく介護サービスが受けられるサポートラウンジを設置します。また、入居者の利便性の高い生活をお手伝いするためのコンシェルジュスタッフの配置、看護師の24時間常駐、手厚い介護サービスの提供、クリニックの併設なども計画しています。



シニアレジデンス【完成イメージ】

お問合せ 京王ウェルシステージ株 シニアレジデンス開設準備室
03-5369-2273 (営業時間 <平日> 9:15~18:00)

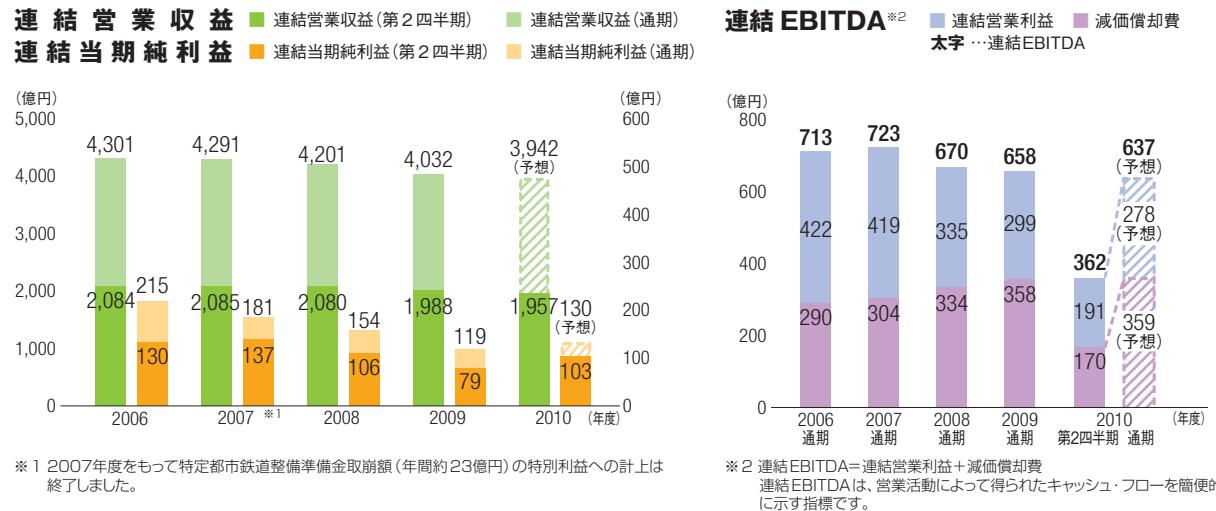
決算の概要

POINT 1 **連結営業収益が1,957億円となりました**

運輸業、流通業、その他業が、長引く景気低迷の影響などにより減収となったことから1,957億円(前年同期比1.6%減)となりました。

POINT 2 **連結四半期純利益が103億円となりました**

連結四半期純利益は、鉄道事業の退職給付費用が減少したことや、流通業におけるコスト削減などにより、103億円(前年同期比29.9%増)となりました。



通期の見通し

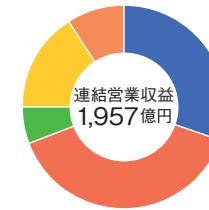
鉄道事業の旅客運輸収入の減などにより、連結営業収益は3,942億円(前期比2.2%減)を見込んでおります。また、連結当期純利益につきましては、鉄道事業の修繕経費の増加などがあるものの、全社的な経費や投資の見直しなどローコスト経営の推進により130億円(前期比8.5%増)を見込んでおります。

※「通期の見通し」および予想数値は、現時点で得られた情報に基づいて作成したものです。従って、実際の業績はさまざまな要因により、記載の予想とは異なる可能性があります。

セグメント別の概況

連結営業収益内訳 (構成比)

運輸業	30.4%
流通業	38.8%
不動産業	5.9%
レジャー・サービス業	15.9%
その他業	9.0%



連結営業利益内訳 (構成比)

運輸業	50.3%
流通業	13.3%
不動産業	24.5%
レジャー・サービス業	10.3%
その他業	1.6%



※構成比率は、セグメント間取引を含む営業収益および営業利益に対する比率です。

運輸業

営業収益 640億円(前年同期比 0.5%減)
営業利益 96億円(前年同期比 14.5%増)
●京王電鉄(鉄道)、京王電鉄バス、京王自動車、他 7社

鉄道事業では、沿線の大学において学部の新設により学生数が増加したものの、景気低迷の影響や猛暑による出控えなどにより旅客運輸収入が前年同期に比べ1.2%減(うち定期1.1%減、定期外1.3%減)となりました。一方、バス事業では、路線バスで都区内・多摩地区ともに増収となりました。

流通業

営業収益 816億円(前年同期比 3.5%減)
営業利益 25億円(前年同期比 19.9%増)
●京王百貨店、京王ストア、京王書籍販売、他 6社

百貨店業では、長引く個人消費の低迷などにより減収となりました。ストア業では、「キッチンコート」三鷹店を3月に、久我山店を9月にオープンしましたが、既存店の売上不振などにより減収となりました。また、書籍販売業では、主力店である「啓文堂書店」吉祥寺店の移転縮小の影響などにより減収となりました。

不動産業

営業収益 124億円(前年同期比 5.9%増)
営業利益 46億円(前年同期比 2.9%増)
●京王電鉄(開発)、京王不動産、京王地下駐車場

不動産賃貸業では、2009年12月に取得した「新宿三和東洋ビル」(2010年11月に複合商業施設「京王フレンテ新宿3丁目」としてリニューアルオープン)などが寄与しましたが、「京王吉祥寺駅ビル」の建替えにともなう賃料収入の減などにより減収となりました。不動産販売業では、八王子みなみ野シティ土地の販売などにより増収となりました。

レジャー・サービス業

営業収益 335億円(前年同期比 3.3%増)
営業利益 19億円(前年同期比 164.4%増)
●京王プラザホテル、京王観光、京王エージェンシー、他 4社

ホテル業では、「京王プラザホテル」の宿泊部門で客室単価が上昇したほか、「京王プレッソイン」でも客室稼働率が回復し、増収となりました。旅行業、広告代理業では、取扱高の増加などにより増収となりました。

その他業

営業収益 188億円(前年同期比 18.9%減)
営業利益 3億円(前年同期比 70.7%減)
●京王設備サービス、京王重機整備、京王建設、他 9社

建築・土木業では、完成工事高が減少したことなどにより減収となりました。

※当社は運輸業、流通業、不動産業、その他業に重複して含まれています。
※セグメント別の概況に記載の営業収益および営業利益には、セグメント間取引を含みます。

第2四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前連結 会計年度末 2010年3月31日	当第2四半期 連結会計期間末 2010年9月30日
資産の部		
流動資産	92,251	87,771
固定資産	639,477	639,891
① 資産合計	731,728	727,663
負債の部		
流動負債	171,976	167,477
固定負債	310,231	305,835
② 負債合計	482,207	473,313
純資産の部		
株主資本	242,772	251,287
評価・換算差額等	6,748	3,062
純資産合計	249,521	254,349
負債純資産合計	731,728	727,663

四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 自2009年4月1日 至2009年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自2010年4月1日 至2010年9月30日
営業収益	198,808	195,722
営業費	182,475	176,554
営業利益	16,333	19,167
営業外収益	869	1,226
営業外費用	2,890	3,084
経常利益	14,312	17,309
特別利益	319	747
特別損失	1,001	979
税金等調整前四半期純利益	13,630	17,077
法人税等	5,654	6,718
四半期純利益	7,976	10,358

(備考) 記載の金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

高い財務の安定性を維持

有利子負債を自己資本で除したD/Eレシオ(まめ知識参照)は、企業の安全性を評価する指標で、数値が低いほど財務体質が健全であることを示します。鉄道事業の安全性向上のための設備投資の進捗などにとともに、有利子負債が増加傾向にありますが、経営基盤の強化に必要な内部留保にも努めた結果、当社のD/Eレシオは概ね1倍程度で安定的に推移しています。これは、多くの鉄道事業者が2倍以上のD/Eレシオを示す中で、当社の財務体質が極めて健全であることを示しています。

D/Eレシオの推移(連結)



① **資産合計**は、投資有価証券の時価評価による減少などにより4,065百万円減少し、727,663百万円となりました。

② **負債合計**は、工事代金の支払いなどにより8,894百万円減少し、473,313百万円となりました。

③ **営業活動によるキャッシュ・フロー**は、税金等調整前四半期純利益が増加しましたが、法人税等の支払額の増加などにより1,810百万円減少し、27,072百万円の資金流入となりました。

④ **投資活動によるキャッシュ・フロー**は、前年同期に比べ投資有価証券や有形固定資産の取得が減少したことなどにより26,344百万円支出が減少し、22,914百万円の資金流出となりました。

⑤ **財務活動によるキャッシュ・フロー**は、前年同期に実施したコマースナル・ペーパーの発行がなかったことなどにより16,378百万円減少し、5,160百万円の資金流出となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 自2009年4月1日 至2009年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自2010年4月1日 至2010年9月30日
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	28,882	27,072
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,259	△22,914
⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	11,217	△5,160
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,155	△997
現金及び現金同等物の期首残高	50,784	34,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,628	33,093

より詳しいIR情報はこちら

京王ホームページでは、投資家の皆様に役立つ情報を「IR・企業情報」のコーナーに掲載しておりますのであわせてご覧ください。

www.keio.co.jp/



引き続き良好な格付けを維持

当社では、事業の効率的な運営と財務体質の強化に取り組んできました。近年は鉄道事業における安全性の向上策をはじめ、沿線価値の向上と競争力の強化に向けた諸施策などに積極的に取り組んでいます。

このように、健全な財務体質を維持しながら着実な事業展開を行っていることなどが評価され、1998年に取得した日本格付研究所(JCR)によるAA(ダブルAフラット)の格付けを、継続して得ています。

New 京王パスポートカードが便利に生まれ変わります。

当社と(株)京王パスポートクラブは、三井住友カード(株)との連携を強化し、京王沿線でのライフスタイルやニーズに適應した利用価値の高いカードとして、現在の京王パスポートカードのサービス内容を拡充した新カードを2011年3月に発行します。

新カードでは、京王グループ共通ポイントサービス加盟店におけるクレジット利用で3つのポイント(加盟店お買上ポイント、クレジット利用ポイント、Visaワールドプレゼント)が同時に貯まるサービスや、本会員と家族会員のポイントを合算してご利用いただける家族合算サービスを導入し、ポイントを貯める楽しみをさらに拡充します。また、年1回以上のご利用で年会費が無料となるなど、カード会員の皆様の満足度向上と一層の利用促進を図っていきます。



サービス開始日 2011年3月1日(火)

カードフェイスを一新し、
新ポイントマークを導入

格付けは、債券の信用力や元金の支払い能力の安全性などを総合的に分析・ランク付けた信用リスクを測るための重要な指標です。格付けは「格付機関」が行います。

D/Eレシオとは、Debt Equity Ratioの略です。自己資本に対する有利子負債の割合を表し、「有利子負債÷自己資本」という計算式で算出します。この指標は、負債への依存度の高低を見るもので、一般的には数値が低いほど負債への依存度が低く、元金の支払能力があり財務の安定性が高いとされます。長期的な財務の安定性を判断する材料として使われることが多く、格付機関が社債の格付けを決める際の重要なポイントのひとつです。

会社概要

(2010年9月30日現在)

会社設立	1948年6月1日
本社所在地	〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1
資本金	590億23百万円
従業員数	2,420名

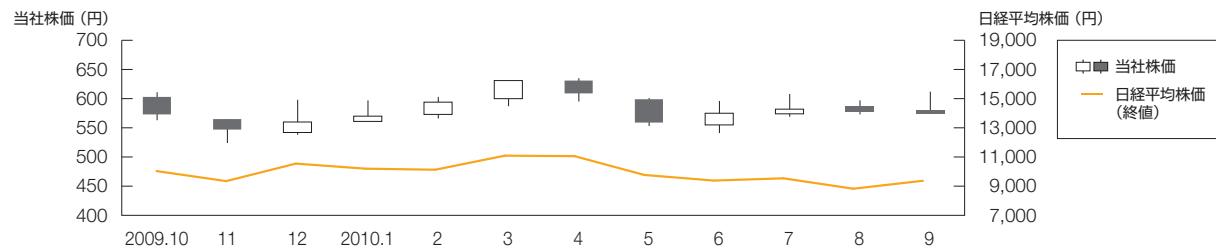
役員一覧

(2010年9月30日現在)

代表取締役会長	加藤 隼	取締役	島倉 秀市
代表取締役社長	永田 正	取締役	内藤 雅浩
常務取締役	田中 茂生	取締役	志村 康洋
常務取締役	狩野 俊昭	取締役	林 静男
常務取締役	川杉 範秋	取締役	宮地 徳文
取締役	高橋 泰三	取締役	五味 保雄
取締役	山本 護	取締役	山本 敏雄
取締役	駒田 一郎	常勤監査役	鈴木 豊明
取締役	紅村 康	常勤監査役	黒岩 法夫
取締役	早崎 博	監査役	久米 信介
取締役	加藤 貞男	監査役	鈴木 光春

株価の推移

(2009年10月～2010年9月)



株式の状況

(2010年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,580,230,000株
発行済株式の総数	642,754,152株
株主数	38,806名

大株主

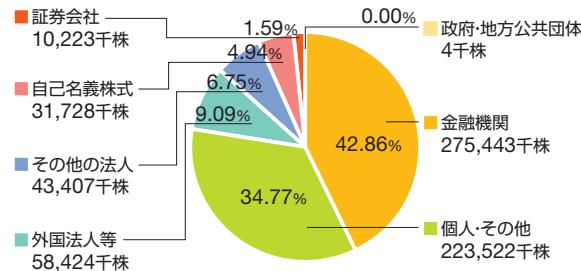
株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	44,948	7.4
第一生命保険株式会社	31,750	5.2
太陽生命保険株式会社	29,310	4.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,265	3.0
住友信託銀行株式会社	18,240	3.0

(注1) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除した株数に対する比率を表示しています。

(注2) 当社は自己株式を31,728千株所有していますが、上記大株主からは除外しています。

株式分布状況

(2010年9月30日現在)



株主カレンダー

2011年

1月

2月

3月

4月

5月

6月

掲載の内容は2010年10月時点での予定です。

31日 株主確定日
(株主総会招集・期末配当金・株主優待)
※28日が権利付最終日

下旬 株主優待ご送付
詳細は裏表紙をご覧ください。

月上旬 第90期定時株主総会招集通知ご送付
下旬 第90期定時株主総会開催
期末配当金関係書類ご送付

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 (株主確定日) 定時株主総会議決権確定 毎年3月31日
期末配当金および株主優待 毎年3月31日
中間配当金および株主優待 毎年9月30日

公告の方法 京王ホームページに掲載します。
(www.keio.co.jp/company/stockholder/koukoku/index.html)

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行 証券代行部

株式に関するお問合せ先

株式に関するお手続き（住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など）のご照会およびお届出につきましては、証券会社に口座開設をされているか否かによってお問合せ先が異なりますので、以下をご参照ください。

【証券会社に口座を開設されている株主様】

➡ 口座を開設されている証券会社にご連絡ください。

【証券会社に口座を開設されていない株主様（特別口座の株主様）】

➡ 住友信託銀行 証券代行部

☎ 0120-176-417(平日9:00～17:00 土・日・祝休)

限定企画ご報告

<株主様向け>当社鉄道施設見学会を開催いたしました。

2010年8月19日および24日、株主様に当社鉄道事業へのご理解を一層深めていただくことを目的として、当社鉄道施設見学会を実施いたしました。

応募者多数のなか当選した両コース計75名の参加者は、「鉄道教習所・京王資料館コース」では9000系運転シミュレータやホーム訓練室等を、「若葉台工場コース」では車体の吊り上げ等を熱心に見学されていました。



【鉄道教習所(ホーム訓練室)】

【若葉台工場】